



この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この「取付説明書」をよくお読みの上、正しく安全に作業を実施してください。また、取り付け上の理由、要因により発生した事故やトラブル、製品不具合等については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。尚、本説明書は、製品を取り付けたあとも大切に保管してください。

**注意事項** **注意** 必ずお守りください！

1. 指定車種以外への取り付けは絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
2. 本製品の分解や加工等は絶対に行わないでください。製品の破損や車両事故を起こす原因となります。
3. 水平な場所で輪止め等を使用して車両を確実に固定したうえで作業を行ってください。車両が動き出し事故を起こす原因となります。
4. エンジンを停止し、エンジンキーを抜いて作業を行ってください。
5. エンジンが十分に冷えていることを確認してから作業を行ってください。事故や火傷を起こす原因となります。
6. 安全のため、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。尚、バッテリーのマイナス端子を取り外すと盗難防止の安全装置等が作動する車両がありますので、車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。
7. エンジンを始動する場合は、換気の良い場所で行ってください。排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
8. 本体やワイヤーハーネスは、マフラー等の高温部、燃料ホースやブレーキホース等に固定・配線しないでください。製品破損や車両火災、事故の原因となります。
9. 本製品の取り付けは、整備資格を有する工場やプロショップ、又は整備資格を持った方をお願いしてください。
10. 点火時期やブースト、燃調等を変更している車両は、本製品装着後に再調整を行なってください。エンジンを破損する原因となります。
11. 本製品はエンジンの不調を補修するものではありません。取り付け前にエンジン作動が正常であることを確認し、不具合がある場合は修理をしてから本製品の取り付けを行ってください。
12. 本製品に異常があった場合は、本製品の使用を止め、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

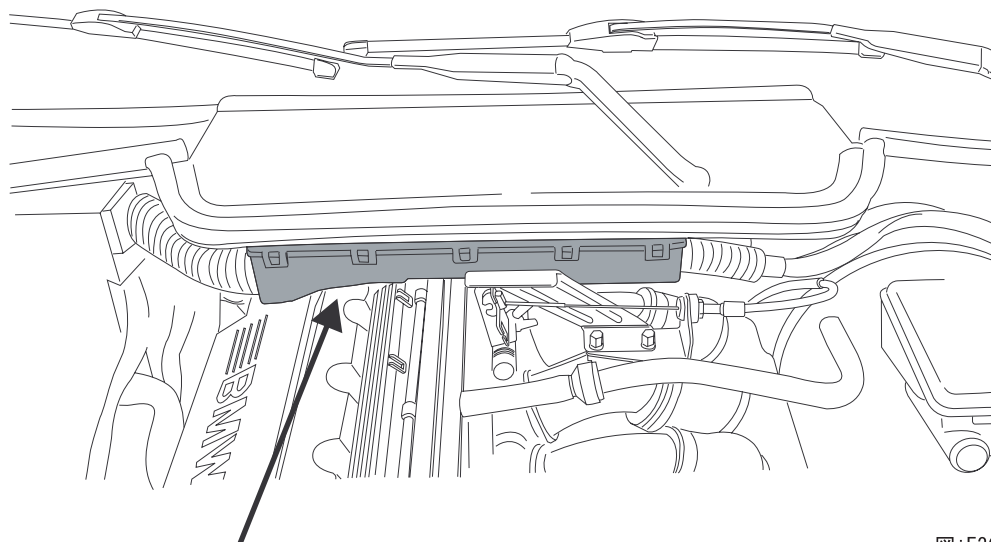
## 構成部品

プラズマグラウンド本体: 1 	丸ギボシ(メス/ダブル)/ 防水チューブ: 1 	丸ギボシ(オス)/ 防水チューブ: 2 	丸ギボシ(メス)/ 防水チューブ: 1 	閉端接続子: 2 	丸型端子(6mm): 1 	転写ステッカー: 1 両面テープ: 2 
--------------------	--------------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------	------------------	----------------------------

## 取り付け手順

### 共通作業

配線ケースのカバーを取り外し、内部の配線が見える状態にして下さい。  
車両によって配線ケースのカバー取り外し方法は異なりますので、車両マニュアルや車両整備書に従って作業してください。

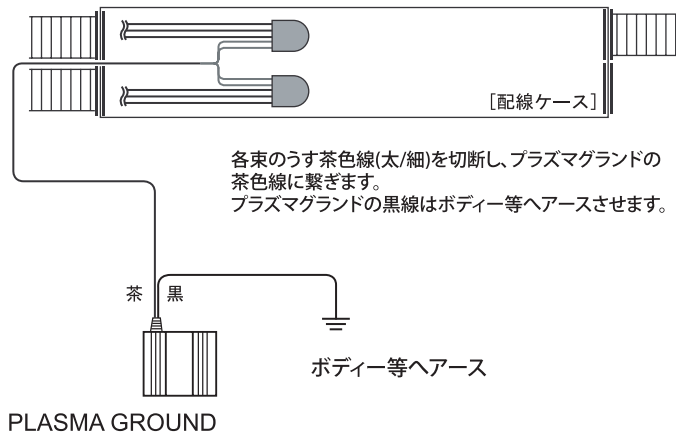


配線ケース

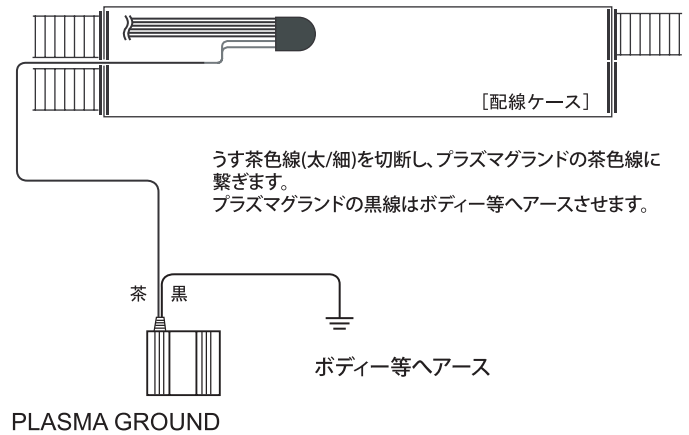
図: E36/M3/M3B

## 取り付け完成図

【イグニッションコイルの2次側アース線が2束に分かれている車両】

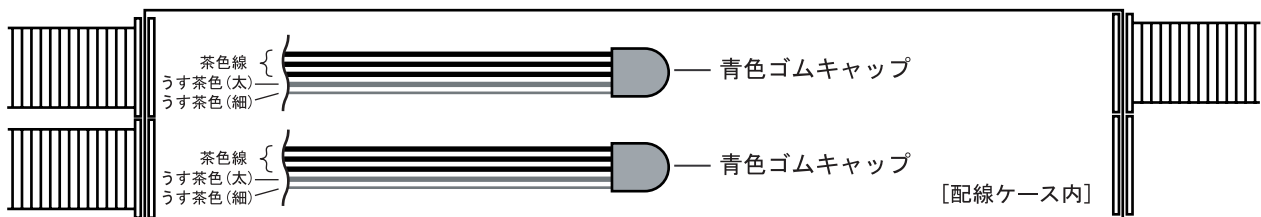


【イグニッションコイルの2次側アース線が1束にまとまっている車両】

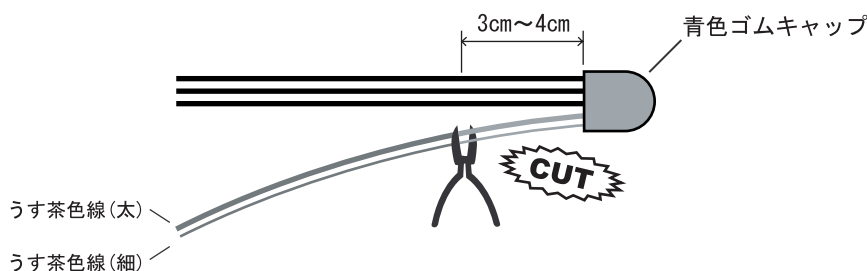


## イグニッションコイルの2次側アース線が2束に分かれている車両の取り付け方法

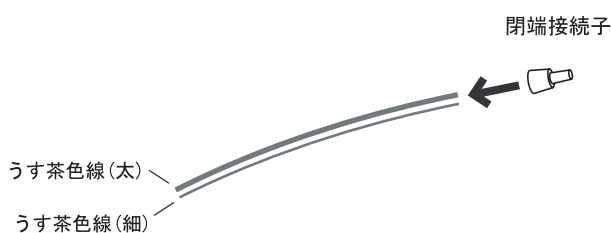
- 1 配線ケースの中からイグニッションコイルの2次側アース線を取り出します。  
取り出す配線は、茶色線：3本(イグニッションコイル2次側アース線)、うす茶色線(太)：1本、うす茶色線(細)：1本がひとまとまりになっている束となります。(下図は分かりやすくするため他の配線は省いております)



- 2 手順1で取り出した配線のうす茶色線(太)とうす茶色線(細)を青色ゴムキャップ手前で切断して下さい。

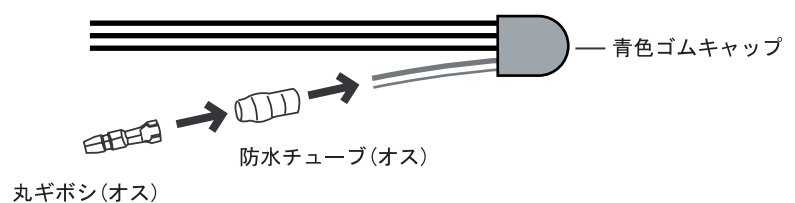


- 3 手順2で切断した配線の被覆を剥き、青色ゴムキャップ側には丸ギボシ(オス)を、反対側には閉端接続子を取り付けて下さい。



配線の先端絶縁を1.1mm剥き、圧着工具を用いて閉端接続子に挿入されているスリーブの中心を圧着して下さい。

配線の先端絶縁を8mm剥き、オープンプラグ用(ギボシ端子用)工具を用いて丸ギボシをカシメて下さい



うす茶色線(太)とうす茶色線(細)の2本をまとめて丸ギボシ(オス)にカシメて下さい。

- 4 プラズマグランド本体を付属の両面テープや車両のボルトなどを用いて空いているスペースへ固定して下さい。

**▲ 注意**

必ずお守りください！

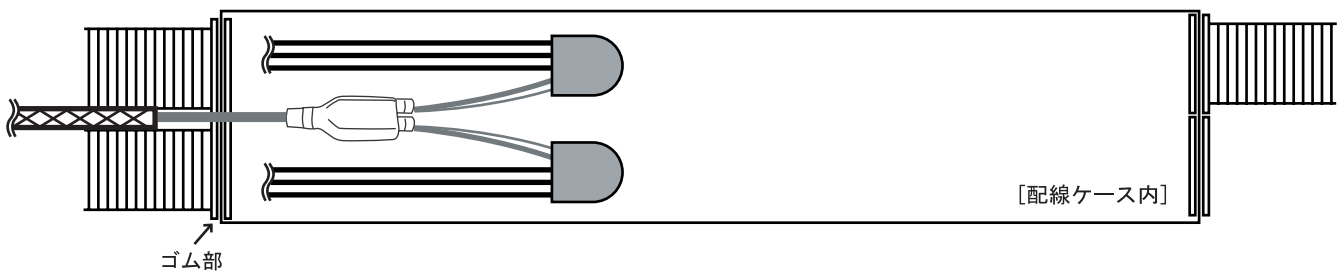
本体、ワイヤーハーネスはエンジン、マフラー周辺の高温部に固定しないでください。製品破損や車両火災の原因となります。

- 5 プラズマグランドの茶色線に丸ギボシ(メス/ダブル)を取り付けて下さい。配線が長すぎる場合は適当な長さに調整して下さい。



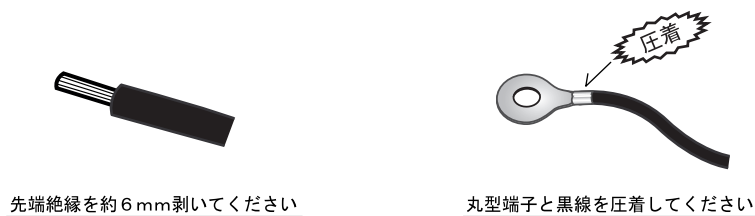
配線の先端絶縁を8mm剥き、オープンプラグ用(ギボシ端子用)工具を用いて丸ギボシをカシメて下さい。

- 6 丸ギボシ(メス/ダブル)に、3項で取り付けした丸ギボシ(オス)を取り付けて下さい。



- 7 配線ケースの蓋を元に戻して下さい。プラズマグランド茶色線は6項の図の位置を通しますが、このまま蓋を閉めると配線が折れ曲がる場合があるため、可能であればゴム部に切れ目を入れていただき配線が折れ曲がらないようにして下さい。

- 8 プラズマグランドの黒線に丸型端子を取り付けて下さい。黒線はボディー等へアースしますので、アースする位置を決めていただき配線が長すぎる場合は適当な長さに調整して下さい。

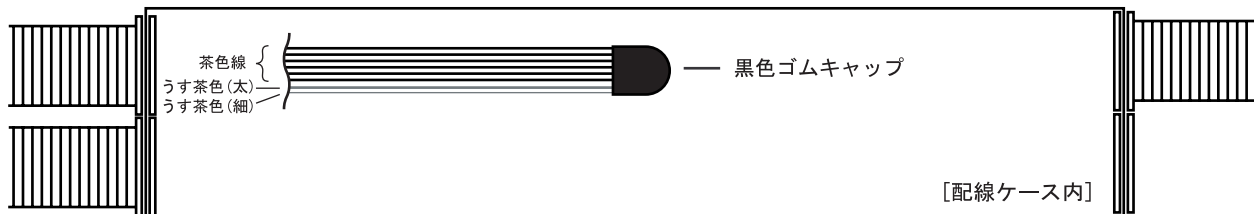


- 9 プラズマグランドの黒線をボディー等のアースポイントへ固定して下さい。

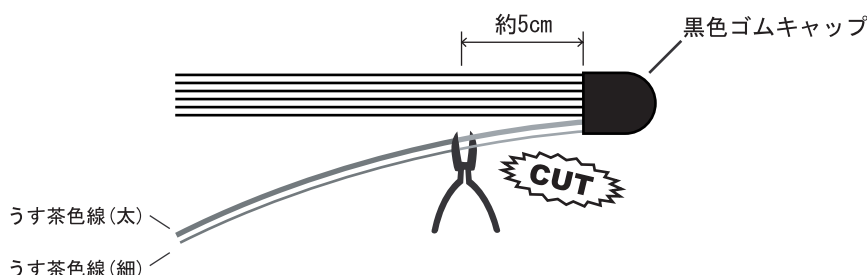
- 10 共通作業で取り外した部品を元に戻して下さい。

## イグニッションコイルの2次側アース線が1束にまとまっている車両の取り付け方法

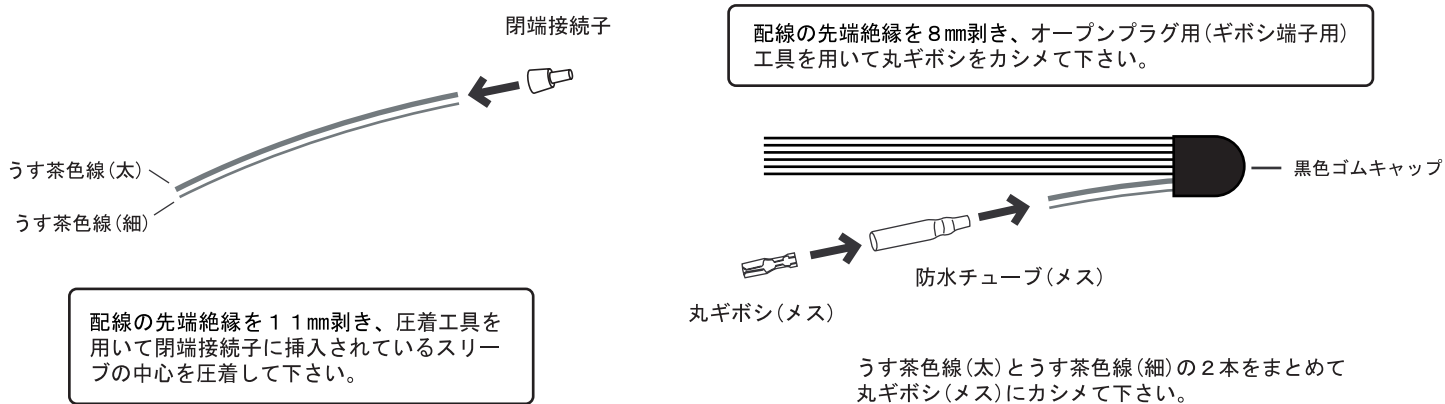
- 1 配線ケースの中からイグニッションコイルの2次側アース線を取り出します。  
取り出す配線は、茶色線:6本(イグニッションコイル2次側アース線)、うす茶色線(太):1本、うす茶色線(細):1本がひとまとまりになっている束となります。(下図は分かりやすくするため他の配線は省いております)



- 2 手順1で取り出した配線のうす茶色線(太)とうす茶色線(細)を黒色ゴムキャップ手前で切断して下さい。



- 3 手順2で切断した配線の被覆を剥き、黒色ゴムキャップ側には丸ギボシ(メス)を、反対側には閉端接続子を取り付けて下さい。

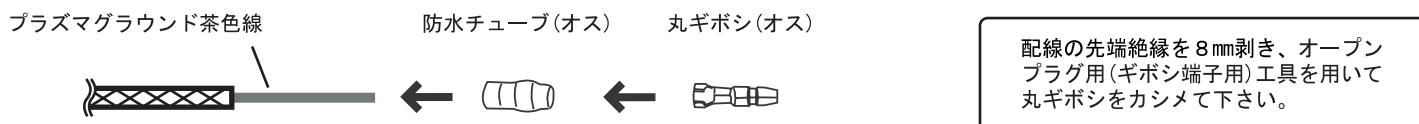


- 4 プラズマグラウンド本体を付属の両面テープや車両のボルトなどを用いて空いているスペースへ固定して下さい。

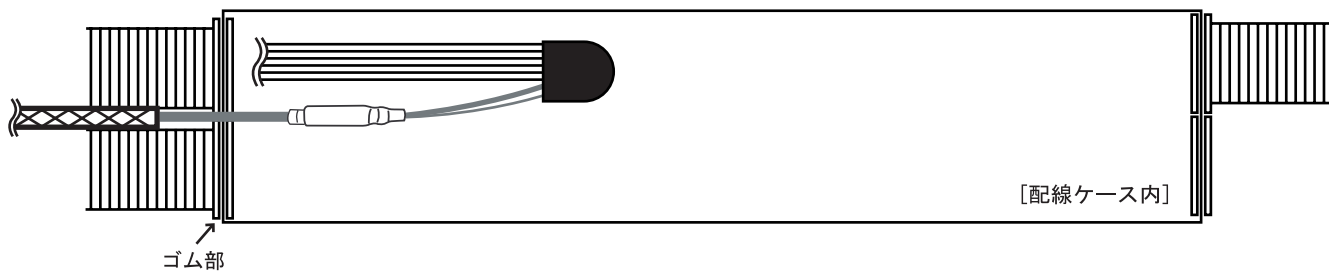
### ⚠ 注意

必ずお守りください！  
本体、ワイヤーハーネスはエンジン、マフラー周辺の高温部に固定しないでください。製品破損や車両火災の原因となります。

- 5 プラズマグラウンドの茶色線に丸ギボシ(オス)を取り付けて下さい。配線が長すぎる場合は適当な長さに調整して下さい。



- 6 3項で取り付けした丸ギボシ(メス)に丸ギボシ(オス)を取り付けて下さい。

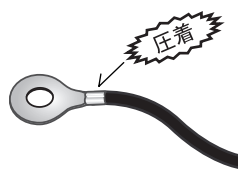


- 7 配線ケースの蓋を元に戻して下さい。プラズマグランド茶色線は6項の図の位置を通しますが、このまま蓋を閉めると配線が折れ曲がる場合があるため、可能であればゴム部に切れ目を入れていただき配線が折れ曲がらないようにして下さい。

- 8 プラズマグランドの黒線に丸型端子を取り付けて下さい。  
黒線はボディー等へアースしますので、アースする位置を決めていただき配線が長すぎる場合は適当な長さに調整して下さい。



先端絶縁を約6mm剥いてください



丸型端子と黒線を圧着してください

- 9 プラズマグランドの黒線をボディー等のアースポイントへ固定して下さい。

- 10 共通作業で取り外した部品を元に戻して下さい。

お問い合わせ



有限会社OKADA PROJECTS  
〒231-0005 神奈川県川崎市高津区北見方2-3-5  
TEL 044-822-3341 FAX 044-822-3342  
E-mail:info@okadaprojects.com  
URL:www.okadaprojects.com

BMW  
M3B(S50B30)/M3C(S50B32)

5/5ページ

無断転載を禁じます